

事業委員会報告 (肝炎対策委員会)

委員長 岡 正直

わが国において多くのHCV陽性慢性肝炎患者が発癌の時期に達し、この数年間肝癌症例は急速に増加しています。

日本人の癌による死亡の順位では肺、胃に次いで肝癌が第3位となりました。毎年約3万人の肝癌による死亡者の80%はC型慢性肝炎・肝硬変を背景としたもので、臨床の現場におきまして慢性肝炎と肝硬変・肝癌の知識の啓蒙と病診連携の推進は、ますます重要なものとなっています。

2004年に神奈川県立がんセンター顧問多羅尾和郎先生と神奈川県内科医学会会長中山脩郎先生を代表世話人とする「肝がん撲滅を目指す病診連携の会」を発足いたしました。世話人として県下主要大学および病院の先生がたと当肝炎対策委員を加え、神奈川県下の5つの地区を持ち回りで講演会を実施しています。2006年6月に、相模原での第5回をもって神奈川県下全地区での講演会開催を達成しました。その後2006年8月より多羅尾和郎先生も新しく肝炎対策委員として参加していただき、また新しい共催メーカーの参加もいただきました。

2007年6月16日(土曜日 16:45-20:00)、横浜駅東口崎陽軒6Fにて第6回の講演会が行われました。一般演題では、「病診連携が役に立った大きな肝がんの治療」のテーマの下、済生会横浜市南部病院 高橋裕先生、また横浜市立大学附属市民総合医療センター 森本学先生と沼田和司先生より、最先端の肝がん治療の実例についてのご講演をいただきました。特別講演1は神奈川県立がんセンター元所長 多羅尾和郎先生に「C型肝硬変症の肝発がんにおける持続炎症の役割」として、長年の臨床経験に基く漢方薬も含めた多剤併用療法の工夫により、いかに発癌率を低下させるかというご講演を、また特別講演2は横浜市立大学附属市民総合医療センター院長 田中克明先生に「肝細胞癌に対する内科的治療と将来の展望」として、従来の治療方法から最先端の治療方法まで豊富なデータをお示しいただきながらわかりやすくご講演をいただきました。

2007年12月1日(土曜日 16:40-19:40)、川崎市立多摩病院2階講堂にて第7回の講演会が行われました。一般演題は「C型慢性肝炎から肝がん治療まで」のテーマのもと、聖マリアンナ医大と川崎市立多摩病院からのコメントを交えて、「C型肝

癌」、「インターフェロン再治療で著効した3例」、そして新しい試みとして「なんでもQ&A」という、事前にいただいた質問に回答するコーナーもありました。特別講演1は聖マリアンナ医科大学消化器・一般外科教授 大坪毅人先生より「肝癌に対する外科療法」として、各種の新しい治療方法が確立した今日にあつて、古くて新しい治療法としての外科切除に新たな光をあてたご講演をいただきました。また特別講演2は川崎市立多摩病院副院長 鈴木通博先生に「肝癌診療の現状」として、肝癌発生の背景としてNBNC肝障害からの発症が増えていることや最近のIFN治療の知見を交えたご講演をいただきました。また第7回から講演会の内容のエッセンスを簡単にまとめたニューズレターを発行し、惜しくも参加できなかった先生方や、まだ参加していない先生方にも本会の情報の一端を伝えることができるようになりました。

特定C型肝炎ウイルス感染者救済特別措置法が2008年1月に、また2008年4月に慢性肝炎の医療費の助成制度が施行されました。これについての講演会や市民公開講座などの情報を発信しています。これら一連の活動の中で神奈川県における大きな患者団体であります「肝臓の会・神奈川」(<http://shinkanren.blog.ocn.ne.jp/>)の佐々木代表と会見し、今後の肝炎啓発活動においてお互いに協力していくことで合意したことは大きな収穫でありました。

2008年6月28日(土曜日 17:00-19:30)、セントラルホテル5階にて第8回の講演会を開催しました。今回はパネルディスカッション形式とし「病診連携による肝炎・肝がん治療の実態」について討議されました。やまうち内科クリニック院長 山内眞義先生の司会進行の下、演題1「肝がん撲滅を目指したC型肝炎治療一病診連携の重要性一」を国家公務員共済組合連合会横須賀共済病院消化器内科部長 池田隆明先生より、演題2「インターフェロン、TS-1併用療法が奏功した進行肝細胞癌の1例」を(横須賀市)小磯診療所院長 磯崎哲男先生より、演題3「肝炎・肝硬変・肝がん治療で紹介された3例」を大船中央病院消化器肝臓病センター医長 高塚健太郎先生より、そして演題4「横浜市東部地域における病診連携システム"肝炎治療ネットワーク(肝炎ネット)"の経験」を済生会横浜市東部病院副院長消化器内科部長 山室渡先生よりそれぞれご講演いただいた後に活発な討論に入りました。「病診連携」は一連の講演会の根幹のテーマだけに議論は尽きない様子でしたが、会の参加者全員

が有意義な示唆を得られたことと思います。

本会は毎回肝臓治療を中心テーマにすえながらも、担当世話人の先生のご尽力により、その内容は肝疾患診療にかかわる医師にとって広範な興味深い内容がこめられており、より多くの参加者を獲得するためにも、会の名称の変更も考慮しています。

次回第9回は2008年10月25日(土曜日 17:00-20:00)に第4地区平塚プレジールにて開催の予定です。より多くの方に講演会へ参加していただくため、肝炎対策委員や「病診連携の会」世話人の先生方のみならず、地区会長の先生方のご協力もいただければ幸いに存じます。また、2006年6月に開設したウェブサイト

(<http://medical.direct.ne.jp/hepat/>)においても、当委員会の活動の詳細を載せておりますので是非ご覧ください。

横浜市健康福祉局健康安全部保険事業課において計画中的肝炎従事者研修の企画立案に際し、当委員会の協力を求めたいとの申し入れが2008年8月にあり、全面的に支援するための体制を近日中に整えたいと考えています。この事業についても皆様のご協力をお願い申し上げます。

- 第1回 2004年6月26日(土)
新横浜グレイスホテル[第1地区]
- 第2回 2004年11月20日(土)
ホテル・ザエルシー[第2地区]
- 第3回 2005年6月18日(土)
横須賀プリンスホテル[第3地区]
- 第4回 2005年11月19日(土)
JR平塚駅 LUSCA ホール[第4地区]
- 第5回 2006年6月17日(土)
相模原南メディカルセンター[第5地区]
- 第6回 2007年6月16日(土)
横浜駅東口崎陽軒本店[第1地区]
- 第7回 2007年12月1日(土)
川崎市立多摩病院[第2地区]
- 第8回 2008年6月28日(土)
横須賀中央セントラルホテル[第3地区]
- 第9回 2008年10月25日(土)
平塚プレジール[第4地区]

(2008年9月25日版)

第8回肝がん撲滅を目指す病診連携の会



平塚プレジールの地図

